

# 2026年12月期 第1四半期 決算補足説明資料

2026年5月13日  
株式会社ズーム

- 新製品および欧州販売が好調に推移。為替影響も加わって売上高は17.4%増
- 売上総利益の改善と構造改革効果により、営業利益・経常利益は黒字転換
- VAT追徴見込額の特別損失を計上するも、最終損失は前年同期比で大幅縮小

# I. 2026年12月期 第1四半期決算

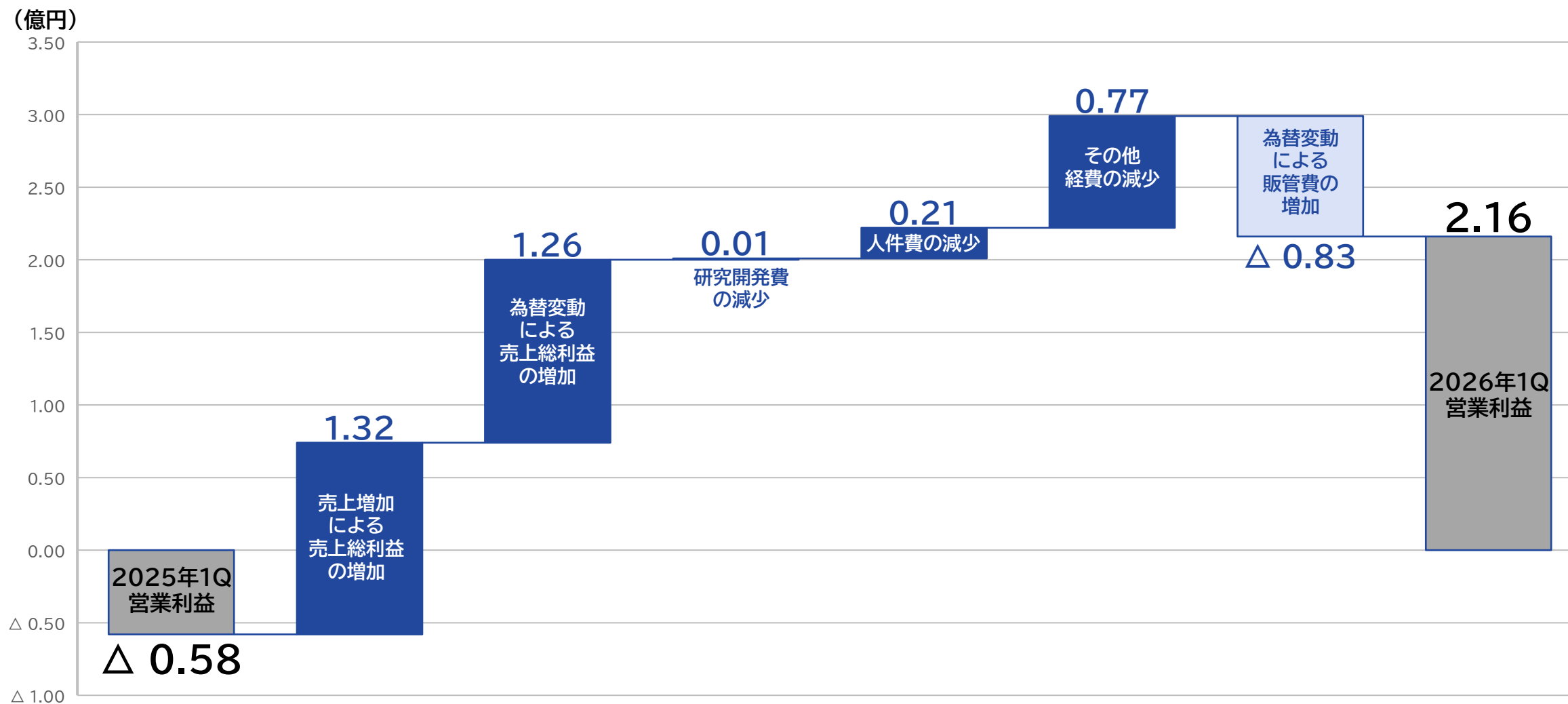
## 売上総利益の回復と構造改革効果により、営業黒字化を達成

(億円)	2025.12期 1Q実績	2026.12期 1Q実績	増減額	
売上高	37.8	44.4	6.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>高音質を訴求するハンディオーディオレコーダーStudioシリーズを中心に新製品が好調推移</li> <li>欧州地域の好調およびユーロ高による売上押し上げに加え、北米も回復基調で推移</li> </ul>
営業利益	△0.5	2.1	2.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上総利益の改善および構造改革効果により営業利益は黒字転換</li> <li>売上回復を営業利益に結びつける収益構造への転換が進展</li> </ul>
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	△1.8	△0.3	1.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>欧州子会社への税務調査に伴う過年度VAT追徴見込額1.2億円を特別損失として計上</li> <li>最終損益は赤字ながら、前年同期比で1.4億円の大幅改善。収益は着実に回復基調</li> </ul>
EBITDA	1.4	3.7	2.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>現金創出力の指標であるEBITDAは3.7億円のプラス</li> </ul>

EBITDA=営業利益+※減価償却費  
※のれん償却費71百万円(前年116百万円)を含む

	2025.12期1Q	2026.12期1Q	増減額
研究開発費	2.2億円	2.2億円	△0.0億円
為替差損益	△0.1億円	△0.3億円	△0.2億円
平均為替レート(円/米ドル)	152.6円	157.0円	4.4円
(円/ユーロ)	160.6円	183.7円	23.1円

売上総利益の回復を、固定費削減・費用抑制により営業黒字へ着実に転換



## Ⅱ. 2026年12月期 業績予想

第1四半期は堅調に推移したものの、為替・関税・需要動向等の不確実性を踏まえ、  
通期連結業績予想及び配当予想は前回発表から変更なし

(億円)	25.12期	26.12期		
	実績	予想	増減額	増減率
売上高	174.4	175.0	0.6	0.4%
営業利益	△0.6	6.5	7.1	—
親会社株主に帰属する当期純利益	△17.3	2.0	19.3	—

一株当たり当期純利益	△398.85円	46.24円	445.09円	—
一株当たり配当金	32円	32円	—	—
配当性向	—	69.2%	—	—

為替感応度(為替相場の変動が年間利益に与える影響):  
 米ドル円:1円の円高(円安)で営業利益が約11百万円減少(増加)  
 ユーロ円:1円の円高(円安)で営業利益が約6百万円減少(増加)

	2025.12期実績	2026.12期予想	増減額
平均為替レート(円/米ドル)	149.6円	145.0円	△4.6円
(円/ユーロ)	169.2円	170.0円	+0.8円

## Ⅲ. トピックス

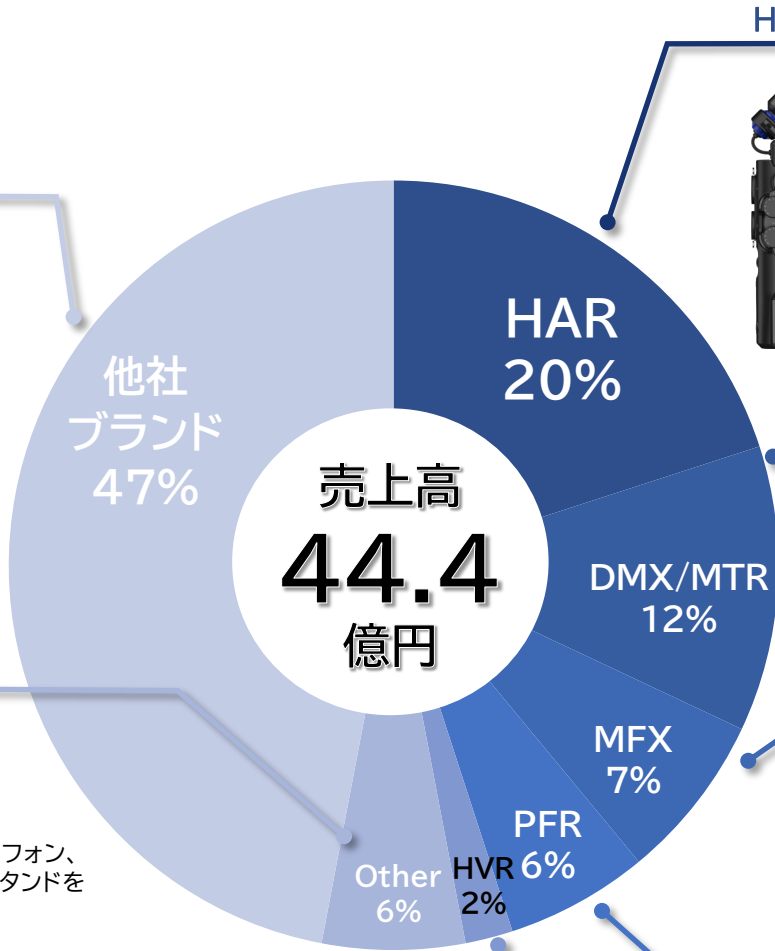
## 商標権訴訟における一部勝訴および控訴について

- ・ZCI社との商標権侵害訴訟に関し、2026年4月24日の東京地裁判決にて当社の請求が一部認容され、損害賠償請求を認定
- ・相手方の控訴を受け、当社も主張が認められなかった部分について控訴
- ・今後は、知財高等裁判所において審理が行われる予定

## 米国関税還付申請の進捗について

- ・米国におけるIEEPAに基づく相互関税に関し、米国子会社は支払済み関税の還付申請を実施
- ・還付金額および還付時期は現時点で未確定であり、第1四半期における収益計上は実施せず
- ・社内試算では、還付対象額は総額約170万米ドルとなる可能性があるが、実際の還付金額および時期は今後の手続きにより確定する見込み

## IV. 參考資料



売上高  
**44.4**  
億円

- 他社ブランド
- Mogar取扱いブランド
  - フックアップ取扱いブランド
  - Sound Service取扱いブランド

Handy Audio Recorder



**H6studio**  
IN-127dBuの超低ノイズプリアンプ4基と19.4mm大口径XYステレオマイクを搭載した、スタジオ品質の32bitフロート対応ハンディレコーダー。

Digital Mixer / Multi Track Recorder



**LiveTrak L12next**  
アナログの操作性とデジタルの利便性を融合させた、12チャンネルのライブミキサー&レコーダー

Multi Effector



**MS-90LP+**  
コンパクトな筐体に5つのフットスイッチを搭載。最大100種類のループフレーズを保存可能な、足元の操作だけで内蔵リズムマシンやループエフェクトを利用できるストップボックス

Professional Field Recorder



**F3**  
様々な撮影現場で、大音量から極めて静かな音まで最高のクオリティで歪みなく録音できる32bitフロート対応のフィールドレコーダー

Handy Video Recorder

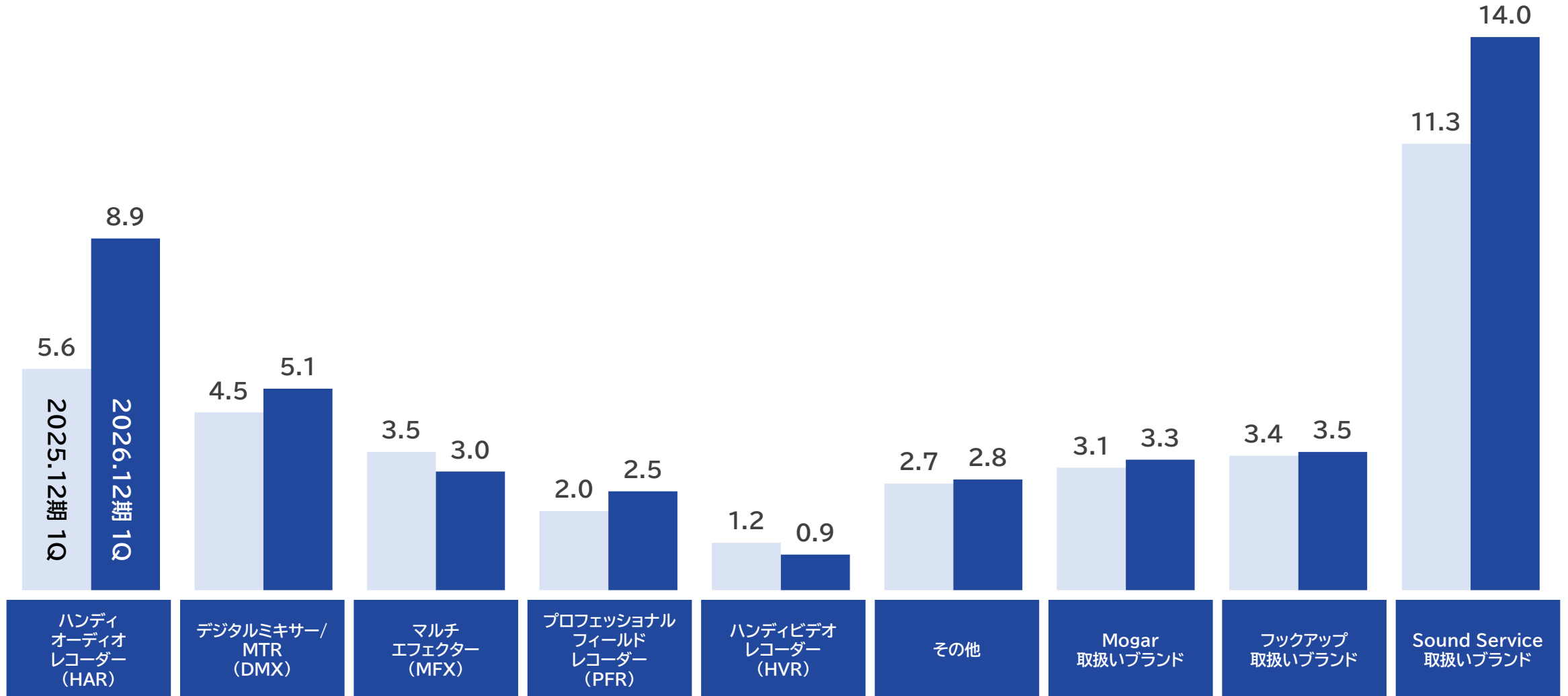


**Q8n-4K**  
ミュージシャンのための高音質4Kカメラ

Other(Audio Interface, Vocal processor, Microphone, Accessories)



**ZDM1-PMP**  
ブロードキャスト品質のダイナミックマイク、音漏れの少ない密閉型ヘッドフォン、高さ調節可能な卓上マイクスタンドを含むコンプリートパッケージ



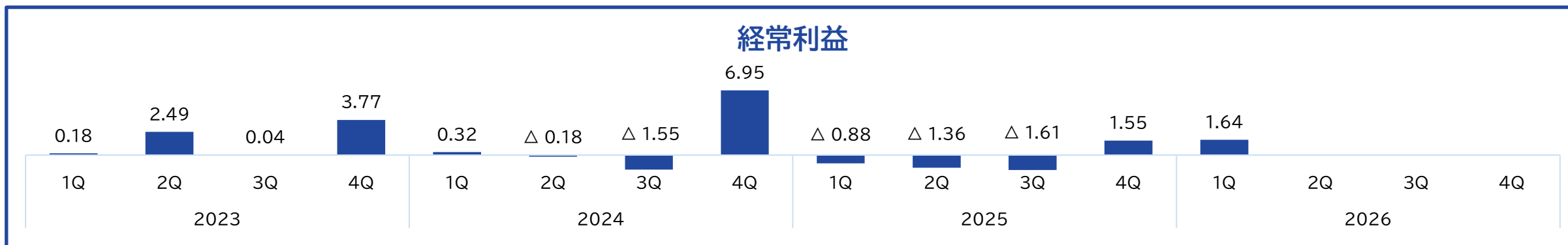
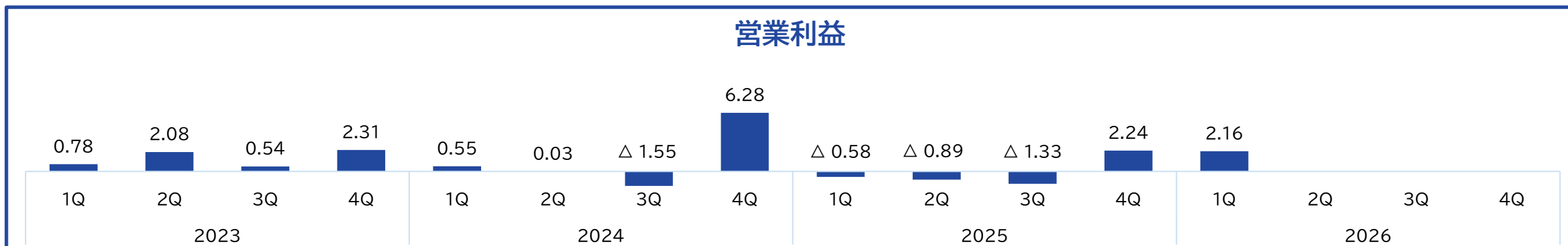
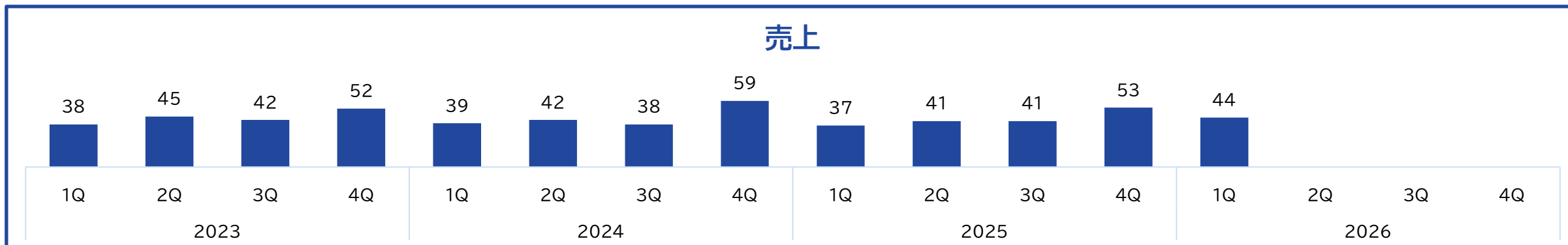
(億円)

※末日レート 25.12期末:1\$=156.6円、26.12期1Q末:1\$=159.9円  
 25.12期末:1€=184.3円、26.12期1Q末:1€=183.4円

(億円)

	25.12期末	26.12期 1Q末	増減額	主な増減要因
<b>流動資産</b>	<b>146.5</b>	<b>144.0</b>	<b>△2.5</b>	
現預金	30.9	34.4	3.5	
受取手形及び売掛金	22.4	18.0	△4.3	売上減少:前期4Qは53億円、当期1Qは44億円
商品及び製品	77.9	77.8	△0.0	
原材料及び貯蔵品	8.1	7.0	△1.0	有償支給部品の減少
<b>固定資産</b>	<b>40.8</b>	<b>39.7</b>	<b>△1.1</b>	
有形固定資産	15.0	14.1	△0.8	
無形固定資産	19.5	18.7	△0.8	
投資その他の資産	6.2	6.8	0.5	
<b>資産合計</b>	<b>187.4</b>	<b>183.8</b>	<b>△3.6</b>	
<b>流動負債</b>	<b>81.1</b>	<b>80.0</b>	<b>△1.0</b>	
買掛金	14.8	13.8	△1.0	前期末は年末商戦に向けた在庫の積み上げによる仕入債務が増加
短期借入金	48.5	50.1	1.6	運転資金の借入
<b>固定負債</b>	<b>32.0</b>	<b>30.5</b>	<b>△1.5</b>	長期借入金が1.1億円減少
<b>負債合計</b>	<b>113.2</b>	<b>110.6</b>	<b>△2.5</b>	
<b>資本金</b>	<b>2.1</b>	<b>2.1</b>	<b>-</b>	
<b>純資産合計</b>	<b>74.2</b>	<b>73.1</b>	<b>△1.0</b>	親会社株主に帰属する四半期純損失0.3億円の計上および配当金の支払い1.3億円により減少
<b>負債純資産合計</b>	<b>187.4</b>	<b>183.8</b>	<b>△3.6</b>	

(億円)



(ご注意)本資料の将来の見通しに関する記述については、当社が現在入手可能な情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいて作成しており、潜在的なリスクや不確実性が内在しております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります